

上島町消防だより

第36回

四国地区消防救助技術大会

7月26日、第36回四国地区消防救助技術大会が香川県高松市において開催され、当消防本部から小林俊則消防士長が愛媛県隊の指揮隊長として指揮を執りました。



県選手の前頭で行進



整列の状況（プラカードの後）

愛媛県隊の指揮を執る 小林俊則消防士長

気合いを入れて
ヨーイ・スタート！



陸上の部（ロープ渡過）
第3コース 濱田泰也消防士

この大会は、陸上の部7種目、水上の部7種目で競技が実施され、上位入賞者は全国大会に出場することが出来ます。
当消防本部からは、濱田泰也消防士が陸上種目のロープブリッジ渡過

穂積消防士（奥側）の力泳の様子！



水上の部（基本泳法）
手前側 穂積雅晴消防士

に、穂積雅晴消防士が水上種目の基本泳法に出場しましたが、惜しくも全国大会の出場はなりませんでした。今後この大会に参加することによって、救助技術や体力の向上を図りながら、安全確実かつ迅速な現場活動が行えるように訓練を積み重ねてまいります。

平成19年度出動件数

	火災	救急
今年（7月）	1	38
昨年（7月）	1	33
昨年比	0	+5
19年累計	2	263

平成19年7月31日現在

火災と救急は119番
消防本部・署 77-4118(代)

を救急医療週間とし、上島町では上島町総合防災訓練を予定しています。



9月9日は「救急の日」です。
救急医療や救急業務に対する、正しい理解と認識を深めるため、昭和57年に定められました。また、9月9日を含む一週間



毎年9月1日は「防災の日」です。
昭和34年9月24日の「伊勢湾台風」による甚大な被害が契機とされ、関東大震災の発生した9月1日を防災の日とし、その後一週間を防災週間と定めています。



農業講座

しまなみ農業だより 色々な秋冬野菜の栽培に挑戦しましょう。

暑さも和らぎ秋冬に収穫や種まきを行う野菜が最も作りやすい時期を迎えます。今月は、自給率の向上と自家用野菜に挑戦して、これ以上畑を荒らさないようにしていただくため主要な野菜についての栽培ポイントを解説します。

(1)栽培作型

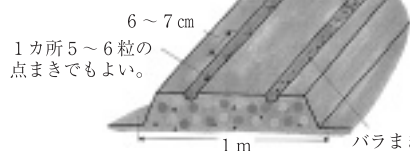
秋作は寒くなる時期に向かうため、気温の高いうちに大きく育てなければなりません。温暖化とはいえ適期の種まきが重要となります。ハウレンソウや水菜など短期間で生育し、収穫適期が短い野菜は2週間ごとに少しずつ播くことで長い期間にわたり柔らかいものが収穫できます。

(2)栽培管理

植え付け間隔は、野菜の大きさにより決まります。直に種をまく野菜は、適期に適度な間隔に間引きを行わないと大きく育ちません。施肥は、植え付けの2週間前に苦土石灰と堆肥を10㎡当たり20kg施用してよく耕します。さらに、その1週間後に元肥（肥料）を施用して耕し整地します。元肥は肥料成分のバランスの取れた配合肥料が使いやすいです。有機にこだわれば、油かすや魚粉などを利用すれば、一味違った野菜が収穫できます（有機肥料は成分が低いため表の施肥量の約3倍必要となります）。

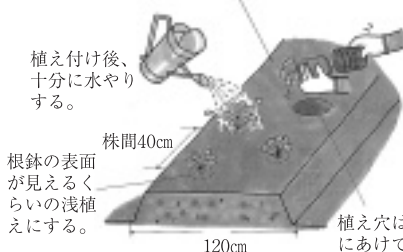
第1図 地ごしらえ・タネまき

- ②タネまき前日、まき溝へ十分水やりしておく。
※初期生育が弱いので、少し厚まきにしてもよい。
- ③タネまき後、5mm程度でいいねいに覆土する。



第2図 地ごしらえ・植え付け

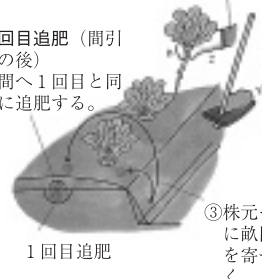
ポットから苗の根鉢を崩さないように抜き取って植える。前日にポット苗にも十分に水やりしておくで根鉢が崩れにくくなる。



①2回目間引き

本葉5～6枚になったら、生育のよいもの1株にする。

- ②2回目追肥（間引きの後）
条間へ1回目と同様に追肥する。



- ③株元や条間に畝間の土を寄せておく。

直に種を播く時には、浅い溝を作り、点まきや薄くバラまきにします（図1）。また、キャベツやレタスなどは育苗したものを所定の間隔に植えつけます（図2）。直まきは間引きという作業をしますが、2回に分けて抜き取り最終1本にします。間引きが終われば株の左右に土寄せを行い株を安定させます。土寄せ前に追肥として株元に肥料を行うと効果的です（図3）。

表1 主要な秋・冬野菜の栽培作型

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
キャベツ	■	■	■	■				(冬) ○××△	○××△			
はくさい	■	■						(早春) ○			■	■
ハウレンソウ	■	■	■						○～○	○	■	■
レタス	■	■							○～○	△	△	■
しゅんぎく(摘み)									○～○		■	■
大根									○		■	■
水菜									○～○		■	■
じゃがいも(秋)									○		■	■
極早生たまねぎ			■	■					○××	××△		
晩生たまねぎ					■	■			○		△	

○種まき ×育苗 △植え付 ■収穫 ◐トンネル

表2 主要な秋冬野菜の植え付け、施肥の基準

野菜の種類	植え付け間隔			施肥量(kg/10㎡)		
	うね幅(cm)	株間(cm)	植え方(まき方)	苦土石灰	化成肥料	追肥
キャベツ	65	35	苗移植	1	1.5	0.5(2回)
はくさい	50	40	直まき、苗移植	1.5	1.5	1
ハウレンソウ	45	5	条まき	2	1	0.5
レタス	70	25	2条植え	1	1.5	1
大根	40	30	点まき	1	1	1
しゅんぎく(摘み)	30	10	条まき	1	1	0.5
水菜	30	10	条まき	1	1.5	0.5
たまねぎ	30	10	苗移植	1.5	1	1.5